

経営比較分析表

秋田県 北秋田市

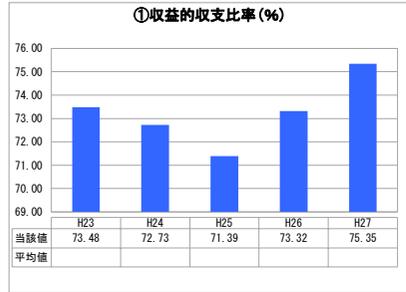
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.66	100.00	2,915

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,129	1,152.76	29.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
564	0.36	1,566.67

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



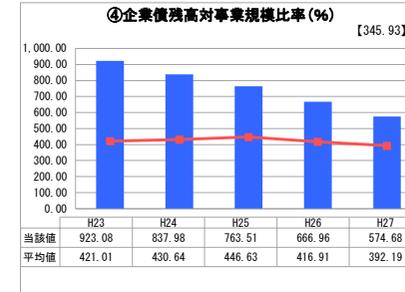
「単年度の収支」



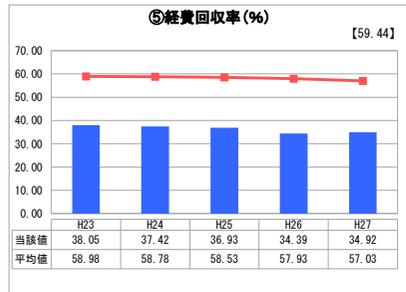
「累積欠損」



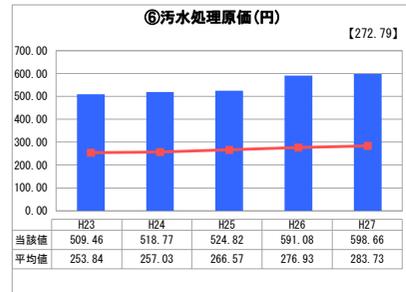
「支払能力」



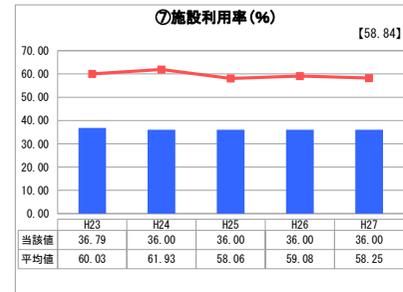
「債務残高」



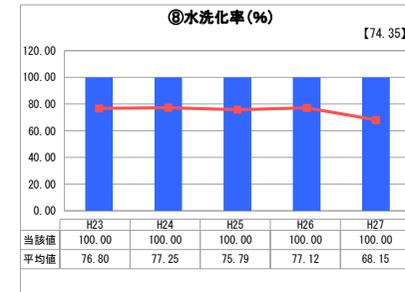
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

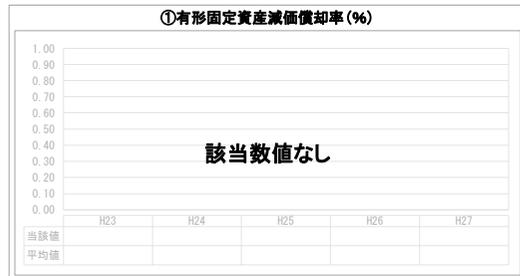


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

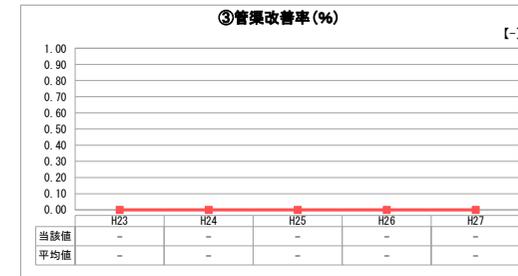
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ①本来100以上になっているのが望ましいが、浄化槽維持管理費に対して料金収入が低いため75.3という数値になっている。
- ②該当数値なし
- ③該当数値なし
- ④起債償還が進み年々比率は減少してきてはいるが、未だに類似団体と比べ1.5倍近く高い数値になっている。
- ⑤本来100以上になっている必要があるが、浄化槽維持管理費と起債償還額の合計額に対し、料金収入が低いため34.9という数値になっている。
- ⑥類似団体の2倍以上の数値であることから、浄化槽維持管理費が高いことが原因と思われる。
- ⑦浄化槽の施設利用率が低い理由としては、世帯人数に対して浄化槽が大きいこと挙げられる。
- ⑧休止している浄化槽がないことから水洗化率は100%である。

2. 老朽化の状況について

- 平成14年度整備開始で13年しか経過していないことから、浄化槽の更新事業を開始していない。

全体総括

各指数を類似団体と比較しても乖離が目立ち、今後改善に向けた取組が必要と考える。
 収益については、一般会計からの繰入金に依存度が高いため、料金収入の拡大を図るとともに、より一層の収納率の向上を図る。
 また、整備事業は完了しているため、浄化槽維持管理費を賄うために今後料金水準を見直し、料金単価の改定を行い適正な浄化槽使用料とするよう努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。